

エクイニクスの東京データセンターで、IBM のクラウド「SoftLayer」への直接接続完了

エクイニクスの東京データセンターから、Equinix Cloud Exchange 経由で SoftLayer のサービス DirectLink をご利用いただけるようになりました

東京 - 2015 年 11 月 26 日 - [インターコネクション](#)および[データセンターサービス](#)をグローバルに展開する [Equinix, Inc.](#) (Nasdaq: EQIX、日本法人代表取締役 兼 北アジア統轄 古田敬、以下エクイニクス) は、エクイニクスの東京 IBX データセンターにおいて、[IBM の SoftLayer\(<http://www.softlayer.com>\)](#) が提供するクラウドサービスを [Equinix Cloud Exchange \(<http://www.equinix.co.jp/solutions/by-services/interconnection/exchanges/equinix-cloud-exchange/>\)](#) を介して提供開始したことを、本日発表いたします。

エクイニクスと IBM は、2014 年末に、アメリカ大陸、ヨーロッパおよびアジア・パシフィック全域において、IBM の SoftLayer をエクイニクスの Equinix Cloud Exchange から直接接続し提供する合意に達した事を発表致しました。この度、東京都内のエクイニクス IBX データセンターからの、セキュアかつダイレクトな接続が可能となりました。これにより、SoftLayer をご利用のお客様は、クラウド内外へのデジタル資産の移動を柔軟にできるようになり、ハイブリッド・クラウド戦略を容易に実現できるようになりました。

発表のハイライト

- ・ アジア・パシフィックにおけるクラウドコンピューティングの成長は、日本がその成長を牽引する形で急激に伸びており、Asia Cloud Computing Association の最近のクラウド成長指数でも、日本は最も成長している国の 1 つとされています。また、IDC の「パブリック IT クラウドサービス予測 2014-2018」によれば、アジア・パシフィック地域のクラウドビジネスは、複合年間成長率 (CAGR) 26.5% で成長すると推定されています。クラウドサービスの成長に伴い、多くの企業が、セキュリティと既存のオンプレミス・インフラを維持しながら、拡張性とコスト削減を図れるハイブリッド環境の導入を検討しています。
- ・ IBM の SoftLayer は、利用企業がクラウドへの接続と、クラウド上で構築したいインフラを思い通りにコントロールできるように設計されています。また、ユーザはグローバルに接続された高速のプライベートネットワークを活用し、ベアメタル、パブリッククラウド、プライベートクラウドをハイブリッドに利用しながら、パフォーマンスに優れたクラウド環境を構築することが可能です。エクイニクスは、Equinix Cloud Exchange を介した SoftLayer の DirectLink への接続を新たにサービス提供いたします。これによりユーザは、セキュアかつ低遅延なクラウドへの接続を、より安価な環境でご利用いただけるようになります。
- ・ Equinix Cloud Exchange は、現在世界の 21 都市（東京、大阪、アムステルダム、アトランタ、シカゴ、ダラス、フランクフルト、香港、ロンドン、ロサンゼルス、メルボルン、ニューヨーク、パリ、サンパウロ、シアトル、シリコンバレー、シンガポール、シドニー、トロント、ワシントン D.C.、チューリッヒ）で提供されております。SoftLayer クラウドへの Equinix Cloud Exchange を介した直接接続 (Direct Link) は、東京、アムステルダム、シカゴ、ダラス、パリ、シリコンバレー、シンガポール、シドニーおよびワシントン D.C を含む北アメリカ、ヨーロッパおよびアジア・パシフィックの 9 都市でご利用いただけます。

コメント

- **エクイニクス・ジャパン、代表取締役、古田 敬のコメント：**
「Equinix Cloud Exchange は、すでに国内でも様々な事業者さまにご利用頂いております。これまでも様々なクラウドサービスへのセキュアで低レイテンシーな接続を提供して参りましたが、東京でも IBM の SoftLayer への接続を提供できる環境が整いました。エクイニクスは今後も、企業ユーザの皆様からのご要望に応えるサービスを、提供してまいります。」
- **日本アイ・ビー・エム株式会社、執行役員 クラウド事業統括担当、小池 裕幸氏のコメント：**
「SoftLayer は、セキュアなグローバル高速ネットワーク、ベアメタル・サーバーと仮想サーバーを自由に選択できること、クラウド環境の管理の透明性などを特長とし、企業のお客様に求められる要件を備えたパブリック・クラウド・サービスです。今回、エクイニクスの東京データセンターにおいて、Equinix Cloud Exchange 経由で SoftLayer の DirectLink をご利用いただけるようになることで、お客様の自社内システムと SoftLayer を接続したハイブリッド・クラウドの構築が容易となり、クラウドの新たな価値をお客様にお届けできるようになります。IBM は今後とも、パートナー様と共に企業向けクラウドを追求し、お客様のビジネス価値の向上に貢献する製品・サービスをお届けしてまいります。」

関連リンク

- **Equinix と IBM が提携、クラウドコンピューティングの導入を加速：**
<http://www.equinix.co.jp/company/news-and-events/press-releases/equinix-and-ibm-accelerate-adoption-of-hybrid-cloud-computing-initiatives/> [プレスリリース]
- **Equinix と SoftLayer のソリューション：** <http://www.equinix.co.jp/partners/softlayer/> [website]

Equinix Cloud Exchangeについて

Equinix Cloud Exchange (エクイニクス クラウド エクスチェンジ) は、世界中の様々なクラウドとネットワークにシームレスかつオンデマンドな直接接続を提供する、高度な相互接続ソリューションです。クラウド、ネットワークの自動接続と、マネージドサービスプロバイダによる高度なサービスを組み合わせ、ハイブリッドクラウドソリューションを構築する企業に対してシンプルかつ拡張性と柔軟性に富んだマルチクラウドサービスを提供します。また、これまで多くの企業がクラウドへの移行において課題としてきたセキュリティ、パフォーマンス、信頼性、ベンダー固定化などの懸念事項も、Equinix Cloud Exchangeにより全て解決されます。Equinix Cloud Exchange の詳細は、こちらをご覧ください。

<http://www.equinix.co.jp/solutions/by-services/interconnection/exchanges/equinix-cloud-exchange/>

IBM クラウドについて

IBM は、クラウドを利用した安全なデータとインフラの統合を可能にする、オープンエンタープライズクラウドの世界的リーダーです。

IBM クラウドについてはこちら

<http://www.ibm.com/cloud-computing/jp/ja/>

IBM クラウド Facebook

<https://www.facebook.com/IBMJJapanSC>

IBM クラウド Twitter

https://twitter.com/Smarter_Cloud

エクイニクスについて

Equinix, Inc. (Nasdaq: EQIX) は、世界で最もネットワーク密度の高いデータセンターにおいて、6,300 社以上の顧客企業、ならびにパートナー企業との間で、相互接続できる環境を提供しております。現在、アメリカ、ヨーロッパ、アジア太平洋における 33 の戦略的都市において、世界の様々な企業に、エクイニクスのインターコネクションプラットフォームを活用していただいています。また日本国内には東京都内 4 カ所、大阪市内 1 カ所の IBX データセンターを運営し、更に 2016 年初旬には東京に新たなデータセンターを開設する予定です。詳細は、<http://www.equinix.co.jp> をご覧ください。

将来の見通しに関する記述について

本ニュース・リリースには、リスクおよび不確実性を伴う将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした将来の見通しに関する記述において言及されている予測と実際にもたらされる結果との間には、大幅な相違が生じる場合があります。そのような相違を生じさせる要因としては、IBX センターの取得、運営および建設上の問題、Equinix のサービスに関する開発、設置、および提供上の問題、既に入収しており、または今後買収する予定の企業との統合に関連して発生する想定外の費用または問題、新たに開設ないし取得したデータセンターにおける顧客からの収益の大幅な欠如、適宜計画される資金調達の未完遂、既存の競合先ないし新規競合先との競争、キャッシュ・フロー余力の十分性あるいは未払負債ないし新規の負債を返済するための資金調達能力、主要顧客とのビジネスにおける損失あるいは減退、Equinix, Inc. が米国証券取引委員会に適宜提出する資料に記載されているその他のリスクが含まれますが、これらに限定されません。詳細については、Equinix, Inc. が米国証券取引委員会に提出した直近の四半期報告書および年次報告書をご参照ください（ご要望に応じ、Equinix, Inc. より入手可能です）。Equinix は、このニュース・リリースに含まれる将来の見通しに関する情報を更新するいかなる義務も負いません。

Equinix および IBX は、Equinix, Inc. の登録商標です。Platform Equinix および International Business Exchange は、Equinix, Inc. の商標です。

###

本リリースに関するお問合せ

海藤 みどり
株式会社トウキョウブランディング シームディア
エクイニクス・ジャパン広報窓口
TEL: 090-9309-6125
Email: mkaito@tokyobcm.jp